

## ●円山動物園の新施設オープンについて

円山動物園で昨年10月から整備を進めてきた「エゾシカ・オオカミ舎」「こども動物園」「類人猿館屋外放養場」の3施設が完成します。設計に当たっては、札幌市立大学からデザインなどについてアドバイスを受け、「動物が快適に過ごせること」「来園者がゆっくり近くで見ることができること」に配慮しました。4月11日のエゾシカ・オオカミ舎を皮切りに順次オープンします。

円山動物園では、レジャー施設としてはもちろんのこと、「環境教育」「種の保存」「動物に関する調査研究」の機関としての役割を果たすべく、今後も大学等の研究機関と連携しながら、魅力ある動物園を目指して取り組んでいきます。

### 1 施設概要

#### (1) エゾシカ・オオカミ舎（新設）

##### ・ 特長

オオカミやエゾシカが走り回れるだけのスペースを確保し、道内に生息する樹木を植えるなど快適な環境を整えました。また、来園者が間近に動物を見られるよう敷地の中央にガラス張りの観察所を配置しました。

##### ・ 展示動物の種類と頭数

シンリンオオカミ（1頭）

エゾシカ（4頭）

##### ・ 面積

1,492 m<sup>2</sup>

（観察所：365 m<sup>2</sup>、屋外放養場 1127 m<sup>2</sup>）

##### ・ 総工費

1億4331万円※

※ 財団法人日本宝くじ協会の「自治宝くじ普及宣伝事業」として建設

##### ・ オープン

平成20年4月11日（金）午前10時



「エゾシカ・オオカミ舎」

#### (2) こども動物園（改修）

##### ・ 特長

北米の森林をテーマにした「ビーバーの森」では、ビーバーやアライグマ、プレーリードッグなどを展示。プレーリードッグの巣作りの様子や巣穴を観察できる施設を国内で初めて設けました。

エゾリスやエゾモモンガなどの北海道に生息する野生動物を展示する「ドサンコの森」では、森林の中に探検に行くようなイメージで見てもらえるようにしました。

##### ・ 展示動物の種類と頭数

「ビーバーの森」

アメリカビーバー（2匹）

アライグマ（1匹）

プレーリードッグ（13匹）

「ドサンコの森」

エゾモモンガ（1匹）

エゾタヌキ（2匹）

エゾリス（2匹）



「ビーバーの森」

- ・ 面積  
「ビーバーの森」 260 m<sup>2</sup>  
「ドサンコの森」 172 m<sup>2</sup>

- ・ 総工費  
5649 万円

- ・ オープン  
平成 20 年 4 月 18 日（金）午前 10 時

(3) 類人猿館屋外放養場（改修）

- ・ 特長

鉄製の柵と堀を取り除き、壁面をアクリルガラス板に変えることで、来園者が間近にオランウータンの遊ぶ様子を見ることができるようになりました。また、地面もコンクリートだったものを土に変え、樹木や遊具を設置し、オランウータンが快適に過ごせるようにしました。

- ・ 展示動物の種類と頭数  
ボルネオオランウータン（1 頭）  
ワウワウテナガザル（3 匹）

- ・ 面積  
458 m<sup>2</sup>

- ・ 総工費  
5164 万円

- ・ オープン  
平成 20 年 4 月 25 日（金）午前 10 時



「ドサンコの森」



「類人猿館屋外放養場」

## 2 事前公開

決まり次第、お知らせします。

問い合わせ先

環境局円山動物園経営管理課

電話 621-1426